

講義名	経済史					授業形態	
担当教員	亀井 大樹	開講期・曜日・時限		後期 火曜日 2時限			
		単位数	2	履修開始年次	2年生	ナンバリング・コード	ECN263

主題と概要

グローバルゼーションとはヒト・モノ・カネ・知識が国境を越えてやりとりが盛んな現象をいふ。われわれの一日の生活を振り返ってみると、グローバルの恩恵を受けている。例えば皆さんが着ておられる衣服を考えてみよう。国内市場や国民生活にとどく輸入品が浸透しているかを示す指標である輸入品浸透率は2021年衣類の統計データは98.2%である。誤解を恐れずに言くと、皆さんがお召しになっているほぼ全ての服は輸入品であることがわかる。世界がグローバル化することで、安価で高品質の良商品を安価に、人々の生活水準を向上させてきたといえるでしょう。

しかし歴史的に考察すると、グローバル化は決して自明の理ではなく、恩恵とともに弊害もあったことは事実です。近年ではロシアによるウクライナの侵攻や米中のデカップリングなどにみられるように新・東西対立に発展しています。今後どのように世界経済や日本経済は推移していくのでしょうか。

本講義は歴史とグローバルゼーションを手がかりに、日本経済のあり方を振り返ってみようというのが狙いです。本講義を受講することで今後の経済のあり方を歴史的観点で考察する癖を養い、「社会人」としての経済史に関する「教養」を身につけます。歴史的に考察するという視点は就職活動の会社研究や業界研究にも生かせるはずです。

到達目標

- 【第1段階】
- 目標1 意欲・態度に関する目標
 - 目標2 歴史に関心をもち、歴史を学ぶことが楽しいと感じる。
 - 目標3 歴史の事象と人物を記憶できるようにする。
 - 目標4 自ら図書館等で図書から、経済の歴史を学ぶ。
- 【第2段階】
- 知識・表現（基礎）に関する目標
 - 目標1 世界史や現代史や高校日本史の歴史的用語、概念を説明できる。
 - 目標2 1500年から2020年までのグローバル化の歴史、日本経済の歴史に関する時間軸を構築できる。
 - 目標3 現代のグローバル化や日本経済は過去から連続性の上にあることを認識する。
- 【第3段階】
- 知識・表現（応用）に関する目標
 - 目標1 経済の歴史を学ぶ意義を認め、経済学に事例を用い、なぜ必要なのかを説明できるようにする。
 - 目標2 日本経済の歴史を学ぶ意義を認め、日本経済の歴史を説明できるようにする。
 - 目標3 歴史的な視点から読みとらえ、今後のグローバル化や日本経済のあり方を議論することができる。

提出課題

- 【毎回の授業後】
 ・毎回の授業後にその日の授業内容を簡単に振り返りと感想・質問・不明点をレスポンス回答します。
 ・詳細は初回授業で説明します。
- 【中間試験】
 ・学期半ばで中間試験を行います。いつやるかは事前に入学します。
 ・持ち込みは「全可」で検討しています。
- 提出にはスマホ、タブレット、パソコン等の電子機器を使用します。電子機器類を持参してください。提出期限が決めない場合は提出期限より電子機器の延長にかかる費用にもなりません。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

- 【毎問誤答（レスポンス）回答】
- ・レスポンスで提出した課題の意思、質問、不明点は翌週以降の講義で回答します（ただし回答数が多い場合には代表的な質問・不明点のみを取り上げ回答します）。課題の回答はクラスの皆さんとシェアします。シェアを前週に回答してください。
- 【中間試験】
- ・中間試験を行った場合には翌週以降に講評をおこないます。

評価の基準

- 【平点率】 20%
授業への参加度（受講態度）および毎回課題での質問や感想内容で評価します。
授業中に課題を提出した場合は平点率がアップします。平点率を0とします。
私語や他の受講者の迷惑になるような行為は厳禁にしてください。
授業中に私語がない場合、授業参加点として、全量に○を付与することがあります。
- 【中間試験】 40%
・学期半ばは中間試験を行います。いつやるかは事前にアナウンスします。
・学期末定期試験は40%
・試験開始直前に学期末定期試験を行います。
・学期末定期試験の受験はただで成績評価はしません。
・申し込みは「可」、電子機器類は「持込不可」です。
【ワークポイント】（最大15%）
・加点課題を設定することがあります。
・授業途中で、希望の人数のみ提出することができます。
・成績評価は平点率、中間試験、学期末定期試験、加点課題を中心に総合的に勘案して行います。
成績評価の方法（加点課題）は各回の授業で説明します。
・ワークポイントの取得は、タブレット、パソコン等の電子機器類を持参してください。持っていない場合は当日配布限りの紙を配布します。
・学期末定期試験の受験には必ず参加しなければなりません。

履修にあたっての注意・助言他

- 「愛護のルール」
- 食事（ガムも含む）は厳禁です（水分補給のための飲み物は認めます）。喫煙は厳禁です（喫煙者は喫煙場所へ移動し、喫煙を認めます。事前に申し出てください）。
 - 他の受講生に迷惑がかかるので、講義中の私語は厳禁です（ただし廊下進行の際は、この限りではありません）。
 - 授業中、机の上で読書や新聞、雑誌による私語は厳禁です。受講生が机の上で読書をするのを防ぐことが重要です。
 - 授業中に携帯電話を操作する行為は、受講生に迷惑をかけるので、受講生は授業中に携帯電話を操作しないでください。授業中に携帯電話を操作する者の着信音やメッセージ着信音などを出さないようにしてください。
 - 授業中、スマートフォンやタブレット端末を操作する行為は、受講生に迷惑をかけるので、その場合、スマートフォンやタブレット端末のアプリを閉鎖してください。
 - 動画撮影は認めません。
 - 授業後の学生は早急し帰り出てください。
 - 授業終了後、自費で食事をし、帰路に付た受講生が、授業時間外の研修費を提出してください。
 - 原則、公式式会・就職試験、教養実習等が欠席した受講生は、参加後に証明書を提出してください。

教科書

使用しない。				

参考図書

グローバル経済の歴史。	河崎信樹・村上重・山本千映	有斐閣	3080	978464122148
なぜ豊かな国と貧しい国が生まれたのか。	ロバート・C・アレン著、グローバル経済史研究会 訳	NTT出版	2090	978475712304

その他

- 【配布資料】
 ・配布資料は授業時に適宜配布します。また必要に応じてRYUKA Portalのキャンパスクロスにアップします。
 【参考文献】
 ・授業時に指示しますが、高校史教育の教科書、資料集等があります。例として以下のような文献をあげておきます。
 日本書紀(2022) 河野 正人 編 山川出版社。 ISBN 978-4-634-70121-1
 歴史学探究 木村晴子・中嶋さゆり(2022)『新説世界史』山川出版社。 ISBN 978-4-634-70131-1
 歴史学探究 久保田 文子・中嶋さゆり(2022)『現代の歴史総合 へ・読みか・考える』山川出版社。 ISBN978-4-634-70112-0

授業計画

- 【第1問】オリエンテーション
事前内容 Webシラバスをよみ捨てて、講義に臨んで下さい(120分)。
授業内容 成城大学について、配布プリントを読み捨ててください(120分)。
【第2問】二つの手を握って
事前内容 二つの手を握って見よう(120分)。
授業内容 ① 皆さんがソーシャルメディアにアップするような内容はなかを振り返っておいてください(120分)。
事前内容 配布プリントを使いながら、重要な概念、用語や単語を整理してください(120分)。
【第3問】歴史を学ぶ意義はあるのか
事前内容 なぜ歴史を学ぶことが大切なのか考えて、講義に臨んでください(120分)。
授業内容 配布プリントを使いながら、歴史を学ぶ意義や学問の観点から説明できるようにしてください(120分)。
【第4問】歴史学入門
事前内容 「歴史学入門」や「マクロ経済学」といったような知識をもとにGDPの定義を振り返って、講義に臨んでください(120分)。
授業内容 配布プリントを使いながら、経済学上における経済学を学ぶ意義を自分なりにまとめておいてください(120分)。
【第5問】なぜ経済学は豊かさを測るのにGDPを使うのか
事前内容 豊かさを測るのにGDPを使うのかを自分なりに考えて、講義に臨んでください(120分)。
授業内容 配布プリントを使いながら、豊かでよかった重要な概念、用語や単語を整理してください(120分)。
【第6問】歴史的にどの国が、地産物を入れたGDPを振り返って
事前内容 世界に共通する地産物について、講義に臨んでください(120分)。
授業内容 配布プリントを使いながら、豊かでよかった重要な概念、用語や単語を整理してください(120分)。
【第7問】中間のまとめ
事前内容 これまで配布したプリントを揃えて、到達目標を一覧化して、講義に臨んでください(120分)。
授業内容 これまで授業で紹介した到達目標を達成できるようにしてください(120分)。
【第8問】経路図から日本の近代化の歴史を振り返る
事前内容 経路図を使いながら、日本近代化の経路図を調べて、講義に臨んでください(120分)。
授業内容 ショックの波にさらされて、日本近代化の経路図を調べて、講義に臨んでください(120分)。
【第9問】どのようにしてグローバル化が進んだのか
事前内容 配布プリントを使いながら、豊かでよかった重要な概念、用語や単語をノートに整理してください(120分)。
【第10問】戦国、江戸初期の日本とどの国、地産となっていたのだろうか
事前内容 戦国時代の日本とどの国、地産となっていたのだろうか
【第11問】戦国時代の日本とどの国、地産となっていたのだろうか
事前内容 戦国時代の日本とどの国、地産となっていたのだろうか
【第12問】戦国時代の日本とどの国、地産となっていたのだろうか
事前内容 戦国時代の日本とどの国、地産となっていたのだろうか
【第13問】戦国時代の日本とどの国、地産となっていたのだろうか
事前内容 戦国時代の日本とどの国、地産となっていたのだろうか
【第14問】戦国時代の日本とどの国、地産となっていたのだろうか
事前内容 戦国時代の日本とどの国、地産となっていたのだろうか
【第15問】戦国時代の日本とどの国、地産となっていたのだろうか
事前内容 戦国時代の日本とどの国、地産となっていたのだろうか

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけれども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本講義を受講することで、「流通科学大学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力」のうち、「(2)知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材」と「(3)創造力(新しい視点と豊かな発想)を持った人材」に寄与することができるようになります。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

- 【ICT活用】
毎回の課題回収はレスポンスで行います。スマホ、タブレット、パソコン等の電子機器類を持参してください。

実務経験の有無及び活用

ありません。

備考

特にありません。